

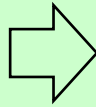
# スマート農業にいち早く取り組み最先端農業を実践 ～山下 健司氏〔本別町〕～

## 経営体の概要

事業実施前：平成20年

基幹作物：小麦、てんさい、豆類、  
スイートコーン

経営面積：25.2ha



事業実施後：令和4年

基幹作物：小麦、てんさい、豆類、  
スイートコーン、たまねぎ

経営面積：26.3ha

## 取組の経緯と経営転換のポイント等

本事業による排水改良により、これまで課題であった農地の湛水による生産性低下の解消と農作業の効率化が図られたことを契機に、小麦やてんさい等の畑作物単収を大幅に向上させ、新たにたまねぎの導入や加工用スイートコーンから生食用への転換を実施。労働力不足に対してはドローンや自動操舵付きトラクターの導入により対応するとともに、これまで試行錯誤し経験してきたスマート農業技術を地域に活用しつつ最先端農業を実践している。

## 営農改善のポイント

### ①省力化

ほ場の湛水被害が解消したことから、農作業への障害が減少するとともに、自動操舵トラクターによる耕起等の農作業を行うことで夜間や長時間作業の負担が大幅に軽減される等、省力化が図られている。また、ドローンを活用した防除作業は、ほ場を痛めず、適期作業と定期的な作業で大きな効果を発揮している。



ドローン防除（小麦雪腐れ）

### ②機械・設備の整備

ICT技術などの豊富な知識を活用し、いち早く自動操舵装置やドローンの導入が行われ、地域のRTK基地局設置により更なる効率化が図られている。現在では自作ハイブリッドドローン（バッテリー+エンジン搭載）により大容量薬剤の対応も可能である。



自作ハイブリッドドローン

### ③単収・品質の向上

湛水等による根腐れなどの作物被害が減少し、単収が向上した。特に、小麦、てんさいでは単収が571kg/10a、7,799kg/10aから1,024kg/10a、8,480kg/10aと大幅に増収した。スイートコーンは、ドローン防除により、通常防除の踏倒しロスも減少した。



生食用スイートコーン

## 事業概要

事業種：直轄明渠排水事業

関係市町：北海道中川郡池田町・本別町

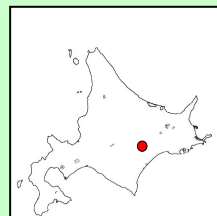
受益面積：1,014ha

事業期間：平成21年度～平成28年度

事業目的：排水改良

主要工事：排水機3箇所、排水路5条L=4.0km

## 位置図（北海道）



利別川左岸地区

## <問い合わせ先>

北海道開発局 農業水産部

農業計画課 計画第1係

電話：011-709-2311

（内線5522）

（令和4年度調査時点）